



はくい (HAKUI)

平成30年 7月号(2018)

市議会だより

No.78

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

- 一般質問…………… 2
- 各委員会報告…………… 6
- 採決結果…………… 7



アトラクション「はくい吹奏楽団☆」

平成30年第2回定例会の概要

平成30年第2回羽咋市議会定例会が、6月4日から6月20日までの17日間開催された。提出された議案は、平成30年度一般会計補正予算など議案3件、報告12件。

初日の提案説明で山辺市長は、羽咋市は昭和33年7月1日に県内7番目の市として市制を施行してから60周年の節目を迎え、これまでの歩みを振り返り、豊かな自然や歴史、伝統文化を育んできた先人たちの功績に敬意と謝意を表するとともに、その成果を将来に継承すると述べ、さらに、この慶事を市民の皆様とともに祝い、本年を未来に向けた新たな出発点として、新しいまちづくりへのさらなる飛躍を目指すと表明した。

具体的には、羽咋創生について、人口減少及び少子高齢化に対応した地域経済の好循環と持続可能なまちづくりの推進。道の駅「のと千里浜」により多くの方々にお越しいただけるよう、商品の

充実や季節ごとのイベントの開催、総菜やレストランメニューの充実。その他、自然栽培の取り組み、羽咋駅周辺整備基本構想の今年度策定、宅地分譲事業、子育て応援事業、地域コミュニティの活性化につなげた地域包括ケアの推進などについて説明がなされた。

6月12日の質問日では7人の議員が質問に立ち、原子力安全協定、上下水道被害対策、地域における防災体制、旧マルシェ跡地、公園の整備、公共施設の統廃合計画、羽咋駅周辺の活性化などについて質問した。

最終日の採決では、平成30年度一般会計補正予算など市長提出議案3件、報告12件を原案のとおり可決、承認した。請願3件のうち1件は採択、2件は不採択とした。また、市長提出人事議案が1件追加され同意した。

全国市議会議長会表彰

羽咋市議会の浅野俊二議員、塩谷久司議員は全国市議会議長会表彰を受けました。浅野俊二議員は、在職40年、塩谷久司議員は在職20年です。

平成30年第2回羽咋市議会定例会の冒頭で表彰状が授与され、代表して浅野俊二議員が謝辞を述べました。

経歴

浅野俊二議員

昭和52年9月30日～現職

昭和62年9月～63年9月 副議長

平成13年10月～14年9月 議長

平成15年6月 藍綬褒章受章

平成30年4月 北信越市議会議長会表彰 (40年)

平成30年5月 全国市議会議長会表彰 (40年)



塩谷久司議員

平成9年9月30日～現職

平成17年2月～17年9月 副議長

平成21年10月～23年4月 議長

平成30年4月 北信越市議会議長会表彰 (20年)

平成30年5月 全国市議会議長会表彰 (20年)



北川 真知子 議員

「事前了解」を明記した 安全協定を結ぶべき



志賀原発

志賀原発再稼働は周辺自治体の同意を

【質問】 原発事故の影響は広範囲に及ぶ。福島事故でも飯館村は30キロ圏外であったが全村避難指示が出された。にもかかわらず、原発の再稼働に際し、同意を求めるのは立地自治体と県だけである。

今年、日本原電が再稼働を目指す東海第二原発について、同社と県、東海村、周辺5市は、再稼働の際は事前に周辺5市の了解を得る安全協定を結んだ。

市は、志賀原発再稼働の際は事前に周辺自治体の同意が必要とする安全協定を結ぶべきだ。

【答弁】 安全協定に関しては、平成23年から羽咋市及び七尾市、中能登町で志賀町と同等の権限（事前了解権）を求める申し入れを行っている。現在は活断層の調査を行っている段階であるため

協議を一時中断しているが、原子力規制委員会の動向を見守っていく。

ジェネリック医薬品使用義務は差別だ

【質問】 今国会の生活保護法改正で、生活保護受給者だけに価格が安いジェネリック医薬品の原則使用が義務づけられた。生活保護者への差別である。国連の人権問題の専門家も、生活保護受給を理由に医薬品の使用に制限を課すのは国際人権法に違反すると述べている。国に対して意見せよ。

【答弁】 県や他市町の対応をもとに検討する。

その他の質問

- ①地域公共交通について
- ②国保税について
- ③「会計年度任用職員」について



稲村 信成 議員

道の駅は民間の経営手法で 早く一人立ちを



道の駅「のと千里浜」は早い自立を

過保護な税金投入は、経営悪化を招く

【質問】 地元町会では道の駅「のと千里浜」向かいの花壇に、800株の花を増やしてお客様を歓迎し応援している。①昨年の来場者23万5千人の内容を示せ。②市職員1名と地域おこし協力隊2名計3名の専従人件費、オープン時大勢の職員が休日返上しての応援の労務費計上を問う。③防災機能の状況を問う。

【答弁】 ①来場者数は買い物レジ通過者の合計数だ。県内60%・富山福井10%・他30% ②応援者等の人件費は、研修者であり計上はしない。③緊急避難場所として食料等は備蓄済。道の駅を運営する羽咋まちづくり(株)とは災害協定の締結予定。

「志を持ち、積極的に歩む」子供達の育成を

【質問】 今の時代は、高い志を持って何事にも積極的にチャレンジする人材が求められる時代である。知力+志+行動力&問題意識のトレーニングが求められている。文科省の教育カリキュラム+アルファの指導を求める。教育長の方針を問う。

【答弁】 教育長として、安定した高い学力を維持している今こそ、英語教育に力を注ぎたい。平成32年度末に中学校3年生の英語検定3級取得率60%クリアを本市の具体的な目標とする。今後社会から必要とされる力をしっかりと身につけさせたい。

その他の質問

今年冬期の上水道被害について



酒井 一人 議員

安全で安心して暮らせる まちづくりのために



指定緊急避難場所の旧鹿島路小学校運動場

地域防災体制の充実への考え方はどうか

【質問】 羽咋市地域防災計画で、指定緊急避難場所は9地区で、学校の運動場を中心に26カ所、指定避難所については9地区で、学校の体育館や公民館を中心に52カ所の指定と、収容人数が明記してある。羽咋市が町会ごとの自主防災組織の構築を推進している中で、地区毎に避難を仮定した時、特に収容率の低い地区等の避難誘導體制に問題はないのか。そして、指定緊急避難場所や指定避難所の看板や避難誘導看板を設置する考えはないのか。

【答弁】 収容率の低い地区については、最寄りの避難施設の状況に応じて、広域避難施設である羽咋体育館周辺への誘導を、自家用車またはバスの手

配での誘導を考えている。各町会での集合場所を把握し連絡体制を構築したい。今後は、大型の駐車場施設を有する民間との災害協定も視野に入れて、避難場所の確保を検討する。看板については、今後、設置されていない公民館等の避難場所、避難所に看板を設置する方向で検討する。

その他の質問

- ①選挙における選挙ポスター掲示場設置場所について
- ②羽咋市職員等の現状について



浜名 等 議員

旧マルシェ跡地の活用策と進捗状況を示せ



有効活用が期待される旧マルシェ

地元関係者に対する要望の確認が重要

【質問】 旧マルシェ跡地を活用するにあたっては、地元元川原町町会や駅前商店街の要望を確認し、協議していくことが重要である。地元関係者に対する、跡地の活用についての説明、協議はどの程度まで進んでいるのか、現在の進捗状況を聞く。

【答弁】 関係者への説明や協議については、現在、市民や商業者の方々に対するアンケート調査の実施や、地元町会などへの説明会開催に向けて準備を進めている。アンケート調査については、6月中の発送を予定しており、関係者への説明会は、アンケートの結果を踏まえ、7月からの実施を予定している。

老朽化する公民館施設の改修計画が必要

【質問】 市内の各公民館施設や付属する設備など

の老朽化が進んでいると聞く。このような現状や、今後の公民館の改修計画について、市長の考えを聞く。

【答弁】 本市では10の公民館と1分館を設置している。現在、消防団車庫と放課後児童クラブを複合化した、邑知公民館を建設しており、その他の公民館、分館については老朽化した個所や設備に優先順位をつけ修繕、改修をし、施設の保全に努めていく。今後は安全、安心面に立ち、公民館の大規模な改修については、邑知公民館の建設事業終了後、近隣の公的施設の利用などを含め、総合的に検討していく。

その他の質問

自主防災組織の課題について



石井 昌志 議員

羽咋市に大型遊具を備えた公園の整備を



羽咋運動公園の新しい遊具

市内に大型遊具を備えた公園を

【質問】 子育て支援に取り組む羽咋市として2点、質問する。1点目は市外の大規模遊具を備えた公園には多くの家族連れが来ており、魅力ある公園は住居を決める理由の一つと考えるが、今後の羽咋市の整備計画はどうか。2点目は都市計画区域外など、公園が整備されにくい地区での、既存の公共施設の利用も含めた公園の整備計画はどうか。

【答弁】 1点目として、近年、羽咋運動公園などに複合遊具やトイレ改修を行い、再整備を行った。今年度は島出児童公園やちびっこ自然センターで遊具の整備を予定している。今後の公園整備においては、現状の公園の状況、課題を整理し、効果的な整備を検討していく。2点目、子育てには安全に遊べる環境の整備は重要と考えており、今後の検討課題とする。

学校と地域の連携を求める

【質問】 平成27年の中央教育審議会の答申では、未来を創る子供たちの成長のために、学校のみならず、地域住民など皆が当事者となり、教育の実現を図るとされている。そのためにも社会教育体制を整備し、学校と地域が連携し協働することが、子供の生きる力を培ううえで、重要と考えるが羽咋市の見解はどうか。

【答弁】 答申のとおり、子供たちが健やかに成長するには学校教育だけではなく、家庭や地域との連携、協力が必要である。現在、多くの地域の方々に協力をいただいております。今後も連携体制を継続しつつ、さらに効果的な連携、協働のあり方について検討する。



岸 博一 議員

旧マルシェ跡地の整備はいつできるか



旧マルシェ跡地と長者川

羽咋駅周辺整備について

【質問】 旧マルシェ跡地の利用計画は今年度中に作成される羽咋駅周辺整備基本構想で検討されることであるが、①どこまで検討されるのか②旧マルシェ跡地横に流れる長者川の改修は必須なのか③建物は改修して利用できる可能性があるのか④整備の完成は最短で何年度になるのか。

【答弁】 ①旧マルシェ跡地の活用対策については、基本構想に続く基本計画や実施設計の中で取りまとめていく。②長者川の改修については管理者である石川県と協議が必要で、基本計画の中で検討したい。③建物を改修して利用できるかはアスベスト調査を行い、基本構想の中で具体的に取りまとめたい。④完成がいつかは、現時点で基本構想を策定中のため具体的スケジュールは示せないが、できるだけ早く着手に努める。

国道415号沿線の発展について

【質問】 千里浜インター周辺は道の駅や宿泊施設等があり賑わいがある。そこから延伸する国道415号沿線は今後発展が見込まれるが、市としてまちづくりや都市計画上なんらかの構想や計画があるか。

【答弁】 国道415号は広域的なネットワーク機能を有する幹線道路として位置づけている。今後、第6次羽咋市総合計画や立地適正化計画の中で都市機能の誘導などを検討していく。

その他の質問

公共施設の統廃合の計画について



浅野 俊二 議員

市制60周年新たな決意で



コスモアイル羽咋

コスモアイル羽咋のホール使用料金を値下げせよ

【質問】 この施設は、文化、芸術、産業など広域的な地域間交流の拠点、また地域の活性化に寄与してきた。しかし、このホールの使用料金は津幡のシグナス等の類似施設と比較して極めて高い。1回発表会をすると、60万円から70万円もかかるので発表会をやめた団体がある。①ホールの使用料を値下げせよ②専門オペレーターの配置または市民が専門資格を取る経費の助成③22年経過し老朽化した機械設備を安くして簡単な設備に更新せよ④利用者や議会の意見も聞いて、抜本的対策をせよ。

【答弁】 ①他自治体の施設と比較し、市民が利用しやすい使用料や支援制度について再度検討する。②市民オペレーターの運用や資格取得の経費の助成について検討する。③今後、機械設備の更新を計画的に実施する。更新時に設備の規模とあわせ操作の簡素化も検討する。④市民、市、指定管理

者による検討会を本年度に設置し総合的に検討する。

教育現場の長時間労働を改善せよ

【質問】 かけごえはいいが、具体的な削減が行われていない。①市独自の専門教育、専門スタッフの配置②研究指定コースや指導主事訪問の縮減③全国学力、学習状況調査の採点、分析等の業務縮減をせよ。

【答弁】 県内共通で、月1回のノー残業デー、週2回の部活休養日の実施。市として、7月にタイムカードの導入やスクールサポーターを配置する。

その他の質問

- ①羽咋駅周辺の活性化について
- ②サーフィン大会と地域活性化について

予算常任委員会報告

◎新田 義昭 ○石井 昌志 酒井 一人 岸 博一
 浜名 等 北川真知子 寺井 哲也 櫻井 英一
 稲村 信成 大塚 幸男 塩谷 久司 中村 孝清
 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第34号「平成30年度羽咋市一般会計補正予算」など議案2件、報告5件。

6月13日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案2件、報告5件については全会一致をもって原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】平成29年度決算で、保育料が777万円減額になっているが、主な理由は何か。

【答弁】 昨年から第2子の保育料が、一部無料になったことが要因である。

【質問】2名の地域おこし協力隊が携わっているが、昨年1年間のイノシシの処理した数など活動内容はどうか。

【答弁】 イノシシの処理状況は、昨年の12月頃まで順調に処理することができ、年間400頭程度の見込みをたてていたが、今年1月、2月の大雪の影響で、最終的には約340頭という結果であった。販売については、約1,600万円の売上げがあった。

総務民生常任委員会報告

◎中村 孝清 ○岸 博一 石井 昌志 北川真知子
 稲村 信成 塩谷 久司 山本 泰夫

当委員会で付託された案件は、議案第36号「羽咋市税条例等の一部改正について」など議案1件、報告7件。

6月14日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案1件、報告7件については、全会一致をもって原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】介護保険の地域密着型サービス事業の人員や運営等の改正の説明があったが、今後の見通しはどうか。

【答弁】 小規模多機能型居宅介護サービス事業を中心として、小学校区を基本にサービスの充実を図っていききたい。

【質問】国民健康保険税の見直しについて、具体的にどのような改正か。

【答弁】 改正内容は、課税限度額と軽減判定所得の見直しである。

産業文教常任委員会報告

◎浜名 等 ○酒井 一人 寺井 哲也 櫻井 英一
 大塚 幸男 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、請願第2号「市民が利用しやすいコスモアイル羽咋のホール使用に関する請願」など、請願3件。

6月15日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、請願第2号「市民が利用しやすいコスモアイル羽咋のホール使用に関する請願」は全員賛成により採択、請願第3号「主要農作物種子法の復活等をもとめる請願」及び請願第4号「TPP11(イレブン)協定を批准しないことを求める請願」については、いずれも賛成少数により不採択とした。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】報告第18号 法人の経営状況について、「羽咋まちづくり株式会社」の収支予算書において、平成29年度と比較して人件費が大幅に増加している理由は何か。

【答弁】 地域おこし協力隊のほか、パート職員を社員

に採用したことによる増額分である。

【質問】事業計画における地域連携の中で、道の駅「のと千里浜」の軒下出店に伴う利用形態や使用料については、今後どのように考えているのか。

【答弁】 当初、多くの市民団体に気軽に出店してもらいたいという考えから、現行の使用料等を定めた。しかしながら、実際は商業関係の出店が多数あった。今後は、にぎわい創出の観点からも、適正な料金体制等を検討していく必要があると考えている。

またその他として、コスモアイル羽咋の施設使用料等に関する現状や今後の検討課題についての質疑・答弁がされた。

また、付託案件以外の所管事項として、地方創生推進費における国の補助金等について、英語教育における授業時間の確保と教職員の負担について、羽咋駅周辺整備について、特定空き家の状況等についての質問・答弁がされた。

平成30年 第2回定例会 6月議会

平成30年度一般会計補正予算、水道事業会計補正予算、羽咋市税条例等の一部改正についての議案3件、報告12件、追加提出された人事案件1件を原案のとおり可決・承認・同意した。また、請願1件を全会一致で採択、請願2件を賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
市長提出議案第34号	平成30年度羽咋市一般会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第35号	平成30年度羽咋市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第36号	羽咋市税条例等の一部改正について	可 決
市長提出報告第2号	平成29年度羽咋市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第3号	平成29年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第4号	平成29年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第5号	平成29年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第6号	平成29年度羽咋市千里浜財産区特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第7号	羽咋市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第8号	羽咋市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第9号	羽咋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第10号	羽咋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第11号	羽咋市指定介護予防支援等の事業の人員、運営及び指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第12号	羽咋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第13号	羽咋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
請 願 第 2 号	市民が利用しやすいコスモアイル羽咋のホール使用に関する請願	採 択
市長提出議案第37号	副市長の選任につき同意を求めることについて	同 意

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議 案 名	石井昌志	酒井一人	岸博一	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	塩谷久司	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
請願第3号	主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	×	×	×	×	○	×	加 わ り ま せ ん	×	×	○	○	○	×	○	不採択
請願第4号	TPP11(CPTPP)協定を批准しないことを求める請願	×	×	×	×	○	×	議 長 は 採 決 に	×	×	○	○	×	×	○	不採択

行政視察

総務民生常任委員会と産業文教常任委員会の行政視察が行われました。
視察先・視察日程・視察内容は下記のとおりです。

総務民生常任委員会

視察先	視察日程	視察内容
宮城県栗原市	5月15日(火)	デマンド交通の導入について
宮城県名取市	5月16日(水)	通いの場立ち上げ支援事業について
宮城県岩沼市	5月17日(木)	千年希望の丘交流センター施設見学

産業文教常任委員会

視察先	視察日程	視察内容
岩手県一関市	5月21日(月)	「地産外商」の取り組みについて
宮城県東松島市	5月22日(火)	震災復興状況とその後の都市計画について
宮城県多賀城市	5月23日(水)	多賀城市立図書館施設見学

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。
〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

議会会議録検索システムを導入しました

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。すべての会議録を検索できます。

会議録をデータベース化することにより、平成22年からの質問状況等を素早く、簡単に検索することが可能になりました。

編集後記

7月1日に羽咋市制施行60周年記念式典が開催されました。羽咋市は昭和31年に羽咋町、邑知町と鹿島郡余喜村、鹿島路村の2町2村が合併した羽咋町を基に、昭和33年に市制施行され誕生しました。60年といえば人間に例えると還暦を迎え、十干十二支も一回り。心機一転して新たな一步を踏み出す年でもあります。現在、羽咋市では人口減少を始めとして多くの課題もございますが、子育て支援など対策を打ち出し、これからの羽咋市を創るため、市民と行政、そして議会も一丸となって取り組んでまいります。
(石井 昌志)

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	北川真知子
副委員長	岸 博一
委員	石井 昌志
	酒井 一人
	櫻井 英一